

NSF、嗅覚の謎を解明するための研究プロジェクト3件に総額約1,500万ドルを助成(9月21日)

米国科学財団 (National Science Foundation : NSF) は 9 月 21 日、嗅覚の謎を解明し、脳に関する全般的理解を深めるための学際的研究プロジェクト 3 件に対し、総額 1,500 万ドル超を助成することを発表した。これらの助成は、NSF の生物科学局 (Directorate for Biological Sciences) と数学・物理科学局 (Directorate for Mathematical and Physical Sciences) から拠出される。同助成を受給する研究は、今年 6 月にジャネリア・ファーム研究キャンパス

(Janelia Farm Research Campus、バージニア州) で開催された NSF 嗅覚アイデア・ラボ (NSF Olfactory Ideas Lab) のワークショップに参加した研究者 30 人が提出した提案書の中から選出された。今回助成を受給する研究プロジェクト 3 件は以下の通り。

- ・コロラド大学 (University of Colorado) のジョン・クリマルディ氏 (John Crimaldi) ら 7 人が主任研究員を務める「嗅覚のナビゲーション ～自然環境下における動的コンピューティング～ (Olfactory Navigation: Dynamic Computing in the Natural Environment) 」
- ・アリゾナ州立大学 (Arizona State University) のブライアン・スミス氏 (Brian Smith) ら 4 人が主任研究員を務める「嗅覚信号解読のための自然の臭いによる刺激の利用 (Using natural odor stimuli to crack the olfactory code) 」
- ・デューク大学 (Duke University) の松波宏明氏ら 6 人が主任研究員を務める「哺乳類の嗅覚信号の分析 (Analysis of the mammalian olfactory code) 」

National Science Foundation, NSF awards \$15 million to crack the olfactory code

http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=136333&WT.mc_id=USNSF_51&WT.mc_ev=click